

ルオーとサーカス

当館が作品を所蔵するジョルジュ・ルオー Georges Rouault(1871-1958)は、人間の苦悩や慈愛を、独自の主題と表現を通して描いた20世紀フランスを代表する画家です。今回は、コスチュームジュエリー展の出品作品のテーマにも見られる「サーカス」を切り口に、ルオーの作品をご紹介します。

ルオーがサーカスを題材とした作品を手掛け始めたのは1902年頃のことです。師であるギュスターヴ・モローを亡くし、アカデミズムからの脱却を模索していたルオーは、聖書の物語や神話とは異なる、同時代の社会と関わるテーマに目を向け、サーカスや下層社会の人々、裁判官などを描き、大きく画風を転換させました。

サーカスの華やかな世界に惹かれる一方で、ルオーは道化師や踊り子などの笑顔の裏にある孤独や悲哀に目を留め、彼らに人間の本质を見出します。1904年に友人に宛てた手紙のなかで「私たちはみな、程度の差こそあれ道化師なのです」と語ったルオーは、サーカスの芸人たちを描くことで、社会や人間を見つめ、時には道化師に扮した自画像を手掛けるなど、自己と向き合いました。

《手品師 又はピエロ》は、自信にあふれ、芸を披露する道化師が伸びやかな筆致で表されている初期の優品です。ルオーが詩文も寄せた《流れる星のサーカス》は、色の組み合わせや人体のポーズが生み出す造形的な効果にも関心が向けられています。晩年は《道化師》や《マドレーヌ》のように、聖人とサーカスの登場人物の境界線が曖昧となり、キリスト教絵画のような神秘性を帯びた人物像を描きました。

ルオーが「道化師の画家」と称される所以は、このようにサーカスという題材に真摯に向き合い、制作に取り組んだ画家の姿勢によるものと考えられます。

ルオー・ギャラリーでは、パナソニック汐留美術館が所蔵している、日本でも有数のルオーコレクションの中から、テーマごとに作品を展示しています。

ルオーとサーカス

2023年10月7日(土) ~ 12月17日(日)

ルオーがもっとも好んだ主題「サーカス」を切り口に、初期から晩年までの作品をご紹介します。

【展示中の作品】

No.	作品名 Titre	技法／材質 Technique and Support	サイズ (H x W cm) Size	制作年 Date
1	手品師 又はピエロ L'illusionniste dit aussi «Pierrot»	油彩、水彩／厚紙 Oil and watercolor on cardboard	42.7 x 33.1	1907年
2	女曲馬師(人形の顔) Écuyère de cirque (Tête de poupée)	油彩／紙(麻布で裏打ち) Oil on paper lined onto linen	68.3 x 48.8	1925年頃
3	二人の道化師 Les clowns	油彩／厚紙(板で裏打ち) Oil on cardboard mounted on panel	80.8 x 59.2	1929-39年
4	道化師 Pierrot	油彩／紙(麻布で裏打ち) Oil on paper lined onto linen	48.2 x 43.3	1937 又は1938年
5	『流れる星のサーカス』 Cirque de L'Étoile Filante	書籍 Book	45.0 x 34.0	1938年出版
6	黒いピエロ(『流れる星のサーカス』2) Pierrot noir (Cirque de L'Étoile Filante 2)	シュガー・アクアティント、アクアティント／紙 Sugar aquatint, aquatint on paper	30.2 x 20.4	1935年
7	曲芸師(『流れる星のサーカス』5) Jongleur (Cirque de L'Étoile Filante 5)	シュガー・アクアティント、アクアティント／紙 Sugar aquatint, aquatint on paper	31.2 x 20.2	1934年
8	小さな女曲馬師(『流れる星のサーカス』6) La petite écuyère (Cirque de L'Étoile Filante 6)	シュガー・アクアティント、アクアティント／紙 Sugar aquatint, aquatint on paper	30.0 x 20.6	1935年?
9	ルイゾン夫人(『流れる星のサーカス』7) Madame Louison (Cirque de L'Étoile Filante 7)	シュガー・アクアティント、アクアティント／紙 Sugar aquatint, aquatint on paper	30.6 x 21.0	1935年
10	悲しげな痩っ骨(『流れる星のサーカス』8) Tristes os (Cirque de L'Étoile Filante 8)	シュガー・アクアティント、アクアティント／紙 Sugar aquatint, aquatint on paper	31.0 x 20.2	1934年
11	カルメンシータ夫人(『流れる星のサーカス』9) Madame Carmencita (Cirque de L'Étoile Filante 9)	シュガー・アクアティント、アクアティント／紙 Sugar aquatint, aquatint on paper	30.5 x 20.7	1935年
12	アーサー親方(『流れる星のサーカス』11) Master Arthur (Cirque de L'Étoile Filante 11)	シュガー・アクアティント、アクアティント／紙 Sugar aquatint, aquatint on paper	30.1 x 20.3	1934年
13	バレリーナたち(『流れる星のサーカス』15) Les Ballerines (Cirque de L'Étoile Filante 15)	シュガー・アクアティント、アクアティント／紙 Sugar aquatint, aquatint on paper	30.7 x 19.8	1934年
14	オーギュスト(『流れる星のサーカス』16) Auguste (Cirque de L'Étoile Filante 16)	シュガー・アクアティント、アクアティント／紙 Sugar aquatint, aquatint on paper	30.9 x 21.1	1935年
15	眠れ、よい子よ(『流れる星のサーカス』17) Dors mon amour (Cirque de L'Étoile Filante 17)	シュガー・アクアティント、アクアティント／紙 Sugar aquatint, aquatint on paper	30.8 x 21.3	1935年
16	マドレーヌ Madeleine	油彩／紙(麻布で裏打ち) Oil on paper lined onto linen	49.2 x 34.3	1956年

※作者は全てジョルジュ・ルオー Georges Rouault (1871-1958)です。
※作品の所蔵先は全てパナソニック汐留美術館です。

※作品名のみ、欧文は、フランス語での表記となっています。
※番号は展覧会場の展示順序と一致しません。

～WEBスペシャルコンテンツ「高精細でひもとくルオーの絵画」のご案内～

油彩画の技法に詳しい絵画修復士の森直義氏に、高精細画像を見ながらルオーの制作のプロセスについて語っていただいた動画を当館ホームページで公開しております。ルオーの絵画に秘められた色彩とマティエールの奥深さを解き明かす本動画をどうぞお楽しみください。



動画はこちらから